

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：

担当者の所属・氏名 病理診断科 内田 士朗

【研究責任者】

聖路加国際病院 病理診断科 内田 士朗

乳癌の方を対象とした GNAS 蛋白発現に関する研究

1.研究の対象

本研究の対象となる患者さんは、2006年1月～2017年12月の間に聖路加国際病院で乳癌の手術を受けられ、聖路加国際病院病理診断科にて、encapsulated papillary carcinoma (被包型乳頭癌) もしくは intracystic papillary carcinoma (嚢胞内乳頭癌) と診断された方です。

2.研究の目的・方法

・近年、遺伝学の発展により、さまざまな癌でその組織型に特徴的な遺伝子変異が調べられ、同定されています。我々は、GNAS 遺伝子というものに注目しています。この遺伝子は全身諸臓器で低悪性度なものに多く認められることが分かっています。しかしながら、乳癌ではこの遺伝子に異常のある癌の種類はまだ分かっていません。我々は encapsulated papillary carcinoma (被包型乳頭癌) という比較的まれな乳癌が、他臓器の GNAS 変異を有する腫瘍と病理形態学的、生物学的悪性度の点で類似性があるという仮説をたて、その仮説に基づき、EPC で GNAS という遺伝子に異常がないか、免疫染色という手法で調べる研究を行います。

この研究で病理標本、診療録 (カルテ) に記載される内容についての調査のみとなります。

研究期間は研究倫理審査委員会承認後～2019年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- 《情報》 病歴、年齢、癌の部位、リンパ節転移の有無など
- 《試料》 病理標本